



胸像の台座にある銘板の文章です。

記

株式会社ナック創業者 西山由之は太平洋戦争勃発の端緒である真珠湾攻撃直後、1942年1月1日中華民国山東省青島市に生を享く。父は軍人にて群馬県吾妻郡原町の出身。草津小学校々長の長男として厳格に育てられる。母は同県勢多郡赤城村の生れ。西山は2才の時に父が戦死した為、母に連れられ帰国。その実家にて育つ。18歳の時に青雲の志を抱いて単身上京。22才社員食堂請負業として独立開業。26才にてダスキンの販売ディーラーに転換。ダスキン創業者鈴木清一翁に傾倒。それが西山をして今日の人格を形成、又、識見を司る素となる。ナックの成功は「翁の薫陶の賜物」と西山は公言して憚らない。29才現在の株式会社ナックをこの地にて設立。その後、多角化路線に依って積極的に事業領域を拡大。

1995年 ジャスダック上場

1997年 東証二部

1999年 東証一部

2002年 日本経団連入会

2004年 同 理事就任

西山はまるで奇跡のマジックを演じるように2年毎に出世の階段を駆け登る。

そして2010年 日本国天皇より 紺綬褒章授与さる。

2012年1月1日

西山 由之 記

平成24年1月1日古稀を迎え、それを記念して胸像を寿像しました。クリクラ中央研究所の玄関前に設置しました。



この銘板の判読文字は次頁にあります。